

ZPA Private Service Edgeの概要



主なメリット

✓ シンプルなセグメンテーション

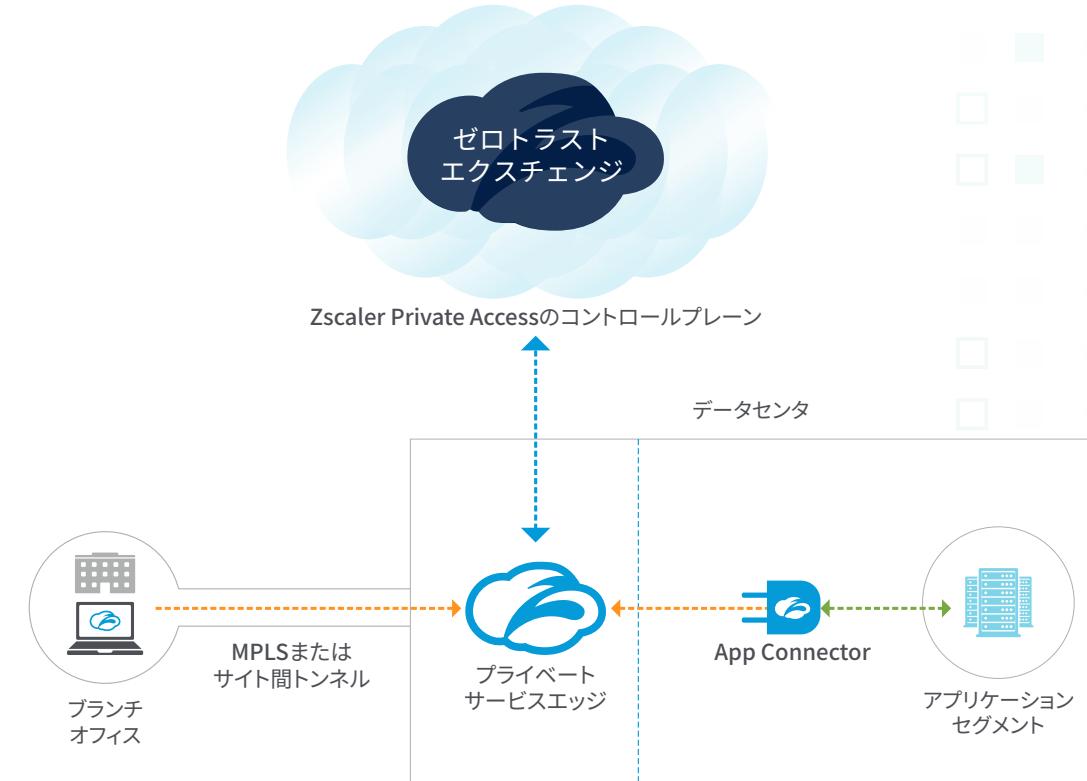
送信元と送信先のIPではなく「ユーザからホスト名へ」のポリシーを使用することで、ネットワークセグメントの定義の複雑さを軽減し、扁平なポリシーフレームワークを実現

✓ 高速ユーザエクスペリエンス

最初にインターネットにトラフィックをルーティングすることなく、ローカルユーザをローカルアプリケーションに接続

✓ コンプライアンスの合理化

クラウドホスティング型テクノロジの採用の阻害要因となる業界や国の法規制へのコンプライアンス



ローカルユーザにローカルプライベートアプリケーションへのきめ細かいアクセスを提供するには、多くの場合に、ネットワークセグメントの定義、追加のファイアウォールへの投資、またはクラウドホスティング型サービスエッジへのトラフィックのルーティングが必要です。管理者には、アプリケーションの保護に必要なレベルを提供するという目的だけのために、数百ものファイアウォールポリシーを管理し、アプライアンスハードウェアを更新することが求められます。ユーザにとっては、最適でないエクスペリエンスという不利益を被る可能性があることを意味します。

Zscaler Private Access (ZPA) サービスの一部として利用できるZPA Private Service Edgeは、お客様がホスティングし、ゼットスケーラーが管理する、すべての機能を提供する(お客様ごとの)シングルテナントインスタンスです。ローカルユーザをローカルブローカに安全に接続することで、迅速かつ安全なアクセスを実現します。ZPA Private Service Edgeソフトウェアをお客様のデータセンタまたはパブリッククラウドサービスに置いて、既存のMPLSインフラストラクチャを活用することができます。

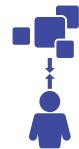
主な機能と特長



ゼットスケーラークラウドをユーザが業務を行う場所まで拡張し、サービスエッジをユーザにできる限り近づけます。ZTNAを用いたZPA Private Service Edgeによって、最も高速のパス、最小限の権限アクセスによる接続を可能にします。



ZPA Private Service Edgeとゼットスケーラークラウド間のコントロールチャネルによって、ポリシーと構成をリアルタイムで更新されるため、ユーザが新しい構成を理解してクライアントで設定を変更する必要はありません。



2種類のアウトバウンド接続が形成されます（ユーザからの接続と、アプリケーションコネクタから接続）。Private Service Edgeが、これらの2つの接続を連結することで、許可されたユーザと特定のプライベートアプリケーションの間に単一のアプリケーショントンネルを作成します。



プライベートアプリのAzure、AWS、Googleなどのパブリッククラウドサービスへの移行後も、一貫性あるアクセスポリシーによって、ハイブリッドクラウドやマルチクラウドの採用を支援します。



ポリシーと構成はキャッシュされるため、高いサービス可用性が実現します。これは、クラウドに簡単にアクセスできない場所で特に重要です。



アプライアンスは必要ないため、内部のファイアウォールや更新のコストを回避できます。

「我々は2018年から、VPNに代わる手段としてZPAを使用しています。ZPA Private Service Edgeによって、パブリック ZPAクラウドのゼロトラストアクセスの機能を、我々のネットワークでも動作するソフトウェアで拡張できます。オンプレミスで動作し、ゼットスケーラーが管理するZPA Private Service Edgeを使用することで、ビジネスクリティカルのプライベートアプリケーションの保護が強化され、最高のユーザエクスペリエンスを提供できるようになりました」

Nicholas Pandola氏

Trinseo

情報セキュリティ担当グローバルディレクタ

デモのご依頼はこちら zscaler.jp/custom-product-demo

